

「箕面市交通ネットワーク活性化プログラム」 公共交通利用促進の検討について

1. 調査内容について

1.1 モビリティ・マネジメント施策の継続的な取り組み方策の検討

■箕面市におけるモビリティ・マネジメントの考え方

モビリティ・マネジメントは「ひとり一人のモビリティ（移動）が社会的にも個人的にも望ましい方向に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策」と定義付けられる。

箕面市においては、鉄道アクセスや市内バスサービスの不足、自家用車への過度な依存といった課題があるが、公共交通の利用を促進し、これらの課題を改善していくためには、ハード対策だけでなく、継続的なモビリティ・マネジメントの取り組みが重要である。

モビリティ・マネジメントは一般的には「自発的に変化することを促す」ものであり、箕面市の地域特性や住民の特性を考慮して、効果的なモビリティ・マネジメントの取り組み方策の検討をおこなうものである。

この取り組みにより、公共交通主体のまちづくりへの転換が図れるとともに、北大阪急行線の延伸やバス路線網の再編といったハード整備の促進が図れる。

○検討項目

（1）モビリティ・マネジメント施策・事例の体系整理

文献等に基づいてモビリティ・マネジメントに関する施策・事例を対象ごと（職場、住民、学校、その他）に整理する。また、上記考え方も踏まえ、箕面市において重点的に取り組むべきMM施策について整理を行う。各対象における施策の考え方としては次のものが挙げられる。

- ・ 職場・・・従業員の通勤及び業務時の交通に対する施策
- ・ 住民・・・通勤・通学者を対象とした施策（TFP等）
- ・ 学校・・・学生・児童及び保護者の啓発活動

（2）簡易 TFP の試行

地域バランスを考慮し、自治会単位で住民（通勤・買い物利用者等）を対象に、MMとして、簡易 TFP（Travel Feedback Program）を行う。

この簡易 TFP は、あくまで試行であり、地域の特性や住民の特性を的確に把握し、特性に応じた今後の継続的な取り組みの検討のための資料とすることを目的とする。

（3）継続的なモビリティ・マネジメント実施方策検討

（1）で整理を行った箕面市で重点的に取り組むべきMM施策（（2）の簡易 TFP の試行結果）を考慮し、箕面市における今後の継続的なモビリティ・マネジメントの実施方策について検討を行う。

具体的には、箕面市におけるMM施策の体系、継続的な取り組みの考え方、実施時期、実施内容について整理する。

1.2 バス利用促進方策の検討

■箕面市におけるバス利用促進の考え方

箕面市においては、特に鉄道駅端末交通としてのバスの役割が大きく、サービスレベルも高い。北大阪急行線が延伸された後も、バスは重要な役割を果たすと考えられるが、市民満足度は低い状況にある。よって、公共交通の利用促進に向けては、バスの利便性向上による利用促進が重要な検討課題となる。

本検討においては、箕面市における課題・問題点の所在を明らかにすることを目的に、バスサービスやバスネットワークに対する利用者や市民の意識の把握を行うための意識調査を実施する。

調査結果をもとに、箕面市において今後取り組むべき施策をとりまとめる。

具体的な検討内容は、以下のとおりである。

○検討項目

(1) バス利用者の意識調査の実施

箕面市の主要な路線バス利用者に対して、現状における問題点と改善要望（バス情報提供、乗り継ぎ、増便、バス停改善等）、北大阪急行線延伸後のバス路線の再編を前提とした利用の期待度等の意識調査を行う。調査方法は簡易なアンケート調査とする。

(2) 非バス利用者の意識の把握

将来的にバス利用が期待できる市民（現在の非バス利用者）の意識については、(ア)における TFP の中であわせて質問することで把握を行う。なお、箕面市で実施した市民満足度アンケート調査結果も活用する。

(3) 今後取り組むべき施策のとりまとめ

(1)、(2) で把握を行った利用者や住民意識を踏まえ、箕面市におけるバスサービスやバスネットワークの課題、問題点の整理を行い、今後取り組むべき施策のとりまとめを行う。施策のとりまとめにあたっては、以下の4つの視点を考慮する。

なお、今後取り組むべき施策としては、短期的な視点のみならず、北大阪急行線の延伸が実現した場合に取り組むべき施策についてもとりまとめ、広域的・中長期的な施策との連続性を考慮する。

視点（案）	主な取り組み（例）
交通安全に配慮した バス走行環境の改善	バスレーン等の導入
	PTPS の導入
	道路改良の促進
交通施設等の整備・改善	パーク＆バスライドシステムの検討
	サイクル＆バスライドシステムの拡大
	バス停の整備
	トランジットモールの導入検討
バスの利便性・安全性 等の向上	バス車両における情報システムの整備
	鉄道駅におけるバス案内システム
	運賃の見直し（乗り継ぎを含む）
	増便・ルートの見直し
社会的役割の認識高揚	教育的施策の実施
	キャンペーン、バス通勤・通学の奨励・誘導
	バスマップ、時刻表の改善
	ノンステップバスの導入

1.3 自転車と公共交通との連携方策の検討

バスの利用促進の一環として、バス停勢圏の拡大に向けた自転車との連携方策について検討を行う。

具体的な検討内容は、以下のとおりである。

(1) 対象バス停の抽出

バス停の特性を考慮しながら、自転車との連携を図るのに適した地区（バス停）の抽出を行う。バス停の特性としては以下が考えられる。

- ・ 駐輪のスペースがある（必須条件と考えられる）
- ・ 特定路線（そこまで行かなければ乗れない）のバス停である
- ・ 終端のバス停である（着席できる等のメリットがある）

これらの特性に該当するバス停としては、例えば小野原東、箕面墓地前、栗生団地などが考えられる。

(2) バス停への自転車利用の実態調査

（イ）のバス利用者意識調査において、バス停までの交通手段についての調査を行い、実態を把握する。

また、補足的に、抽出したバス停（小野原東、箕面墓地前、栗生団地等）に対して**利用実態調査を行う**。調査内容は、自転車の利用理由等とし、ヒアリング調査とする。（ただし、利用者側には自転車を放置することに対する負い目があると考えられ、実際のヒアリングには困難も想定される）

(3) バス停駐輪場の確保手法の検討

調査を行ったバス停について、バス停駐輪場の確保の必要性及び確保手法の検討を行う。

確保手法については、他都市のサイクルアンドバスライド事例（埼玉県、神奈川県、静岡県など）を整理するとともに、必要に応じて自治体・整備主体などに対して、整備・維持管理等についてヒアリングを行い、既往事例も踏まえた手法の検討を行う。

(4) バス停勢圏拡大等を目指したネットワーク化の検討

上記の検討を踏まえ、箕面市の**自転車走行環境ネットワーク化計画案**との関連を考慮しながら、バス停勢圏の拡大等を目指した自転車走行環境ネットワーク化の考え方について検討を行う。

2. 実態調査について

2.1 はじめに

本業務では、公共交通利用促進のための実態調査として「簡易 TFP」、「バスの利用者意識調査」、「バス停への自転車利用の実態調査」を行う予定である。この結果に基づいて、箕面市における交通ネットワークについて、現状での課題や問題点を明確にし、今後の活性化のための方策検討をおこなう。

以下に 3 つの実態調査の目的・概要を整理する。

【実態調査】

調査	目的・概要
簡易 TFP	MM の試行。事前調査とコミュニケーションのためのアンケートをおこなう。 非バス利用者の意識もあわせて聞く。
バス利用者意識調査	バスの利用者に対して、問題点と改善要望等を聞く。
バス停への自転車利用の実態調査	自宅からバス停までの間における自転車の利用者の実態調査を行う。

2.2 簡易 TFP 調査について

(1) モビリティ・マネジメントの考え方

モビリティ・マネジメントは「ひとり一人のモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした施策」と定義付けられる。

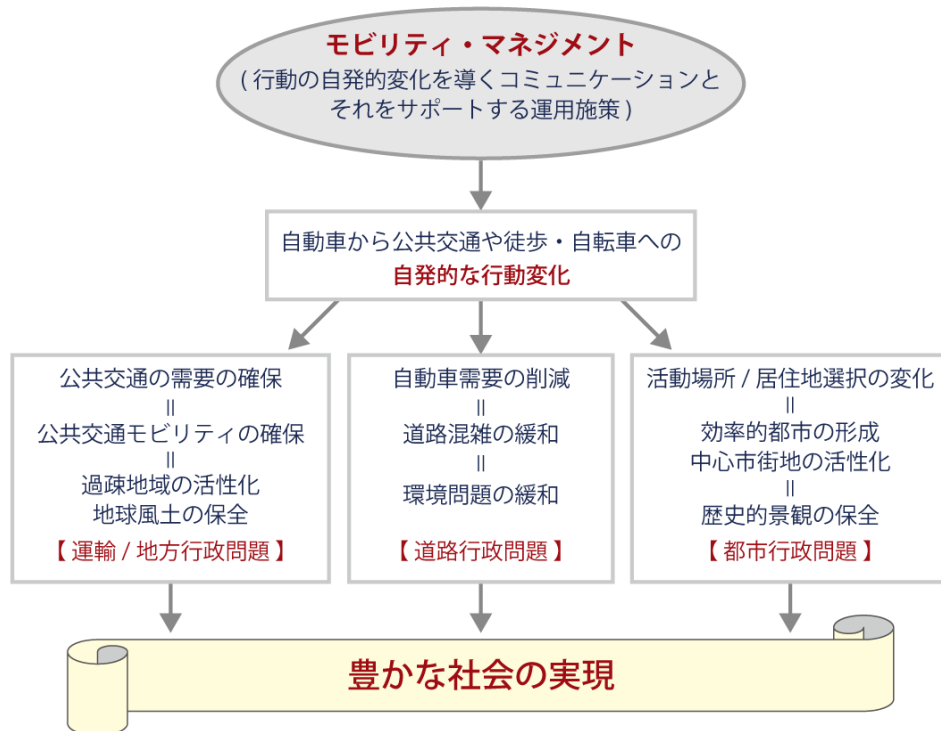


図 モビリティ・マネジメントの目標

モビリティ・マネジメントの目標は、一部の人たちだけの意識や行動が変わるところにあるのではなく、交通量や渋滞長、あるいは公共交通の利用者数当の集計的な値が変化し、都市や交通の諸問題を解消するところにある。

このため、モビリティ・マネジメントの取り組み（モビリティ・マネジメント施策）は、大規模かつ多面的なものとなるが、実務的には財源にも人的資源にも制約が存在する。モビリティ・マネジメント施策の中から現実的に実施しやすく、またより効果的であろうと考えられるものから順次実施していくことが重要である。

また、モビリティ・マネジメントは継続して実施する必要がある、その効果を測定する場合、短期効果だけでなく、1年後、あるいは2年後などの長期効果を測定することも重要である。

(2) 簡易 TFP 調査について

TFP (Travel Feedback Program) 調査は、ひとり一人、あるいは一世帯ごとに個別にコミュニケーションを図りながら、人々の意識と行動の自発的な変化を促す代表的なモビリティ・マネジメント施策である。

代表的なものとしては「簡易 TFP」「標準 TFP」「ワンショット TFP」の三つが挙げられるが、本業務では「簡易 TFP」を行う。

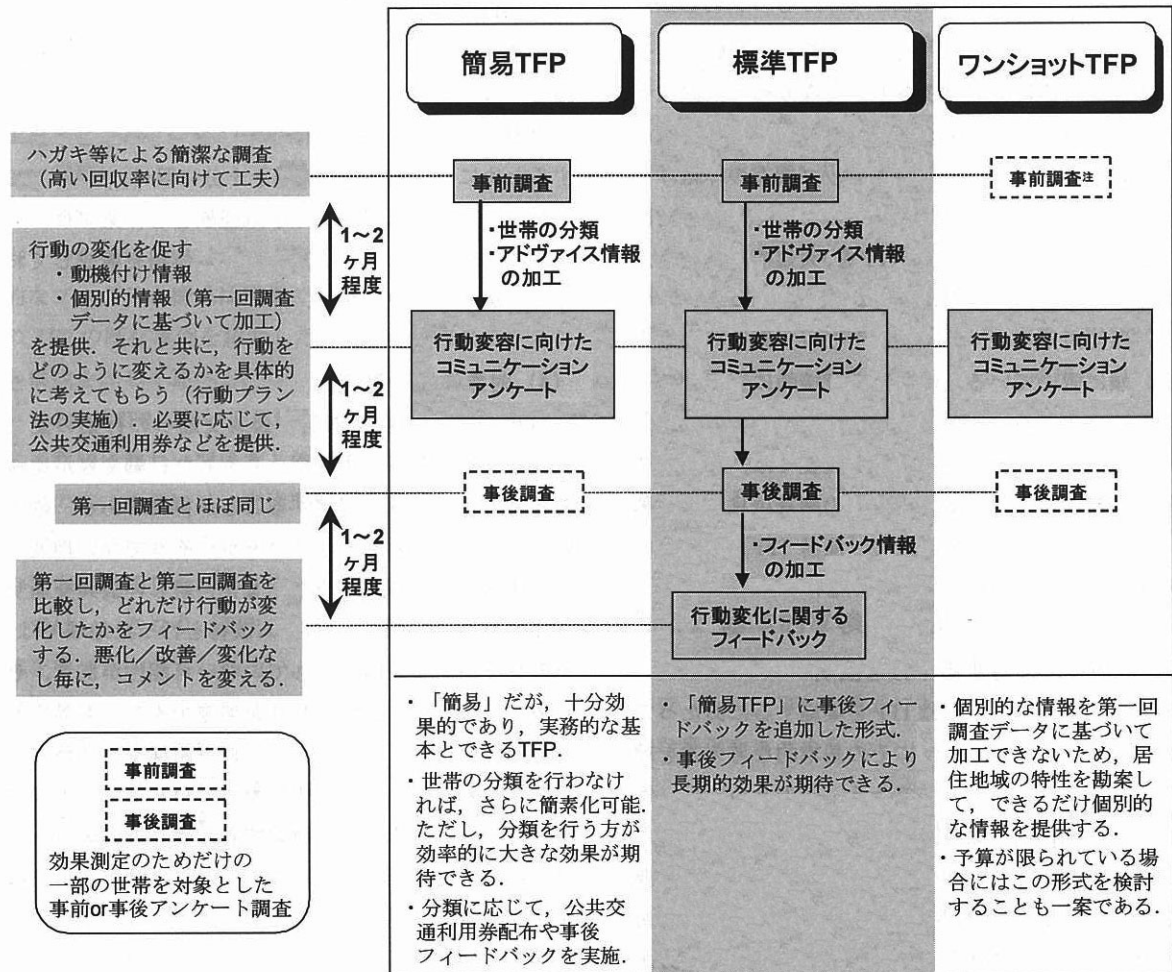


図 TFP の分類とそのプログラム構成と特徴

簡易 TFP は事前調査とコミュニケーション・アンケート調査、及び事後調査の三段階で行う。

① 事前調査

事前調査の目的は、以下の3点である。

- 調査への参加依頼
- コミュニケーション・アンケートのための基礎データの取得
- TFP 効果を測定するための事前データの取得

配布物は依頼状、調査票、回収用封筒の3点である。

事前調査によって被験者を分類し、次の段階であるコミュニケーション・アンケートの形式の検討や、時刻表・路線図などの提供の際に情報の個別化を行うことが可能となる。

② コミュニケーション・アンケート調査

コミュニケーション・アンケート調査は、人々に行動変容を働きかけるものであり、TFPの中でも最も重要な段階である。

実施時期は、事前調査から約1ヵ月後が適当である。

事前調査の回答内容によって、被験者を下図のように分類し、コミュニケーション・アンケートでの対応を検討する。

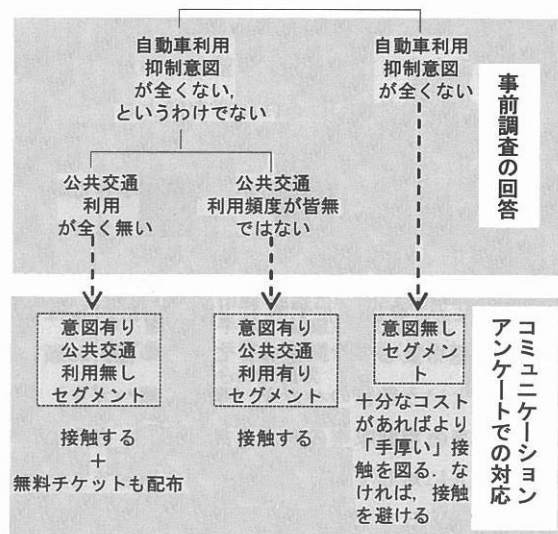


図 簡易 TFP における事前調査による被験者の分類例

事前調査で協力意向を示した世帯をコミュニケーション・アンケートの対象とするが、TFP 効果をより適切に測定するためには、一部の被験者を「制御群」として対象からあえて除外することが望ましい。

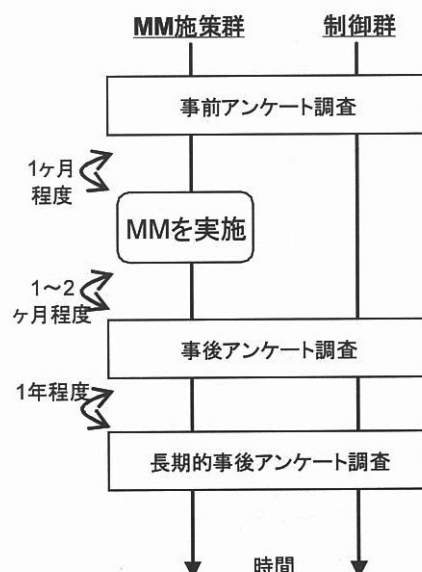
※制御群とは

制御群とは、モビリティ・マネジメントを実施しない人々のグループである。

図のように、MM実施群と制御群との間で、「MMを実施したかどうか」という点だけが違うので、MMによる効果が測定しやすい。

しかし、事前・事後調査から効果を測定する場合、事前と事後の時点で測定指標が大きく変わらないものであると予想できる場合には、必ずしも制御群を設ける必要はない。

本業務では、通勤・通学などの定型的な交通



行動を中心とした効果の測定であること、また被験者数がそれほど多くないと考えられることから、制御群は設けないこととする。

③ 事後調査

事後調査は、事前調査とほぼ同じ内容の調査票を配布し、コミュニケーション・アンケートによって事前調査時と比べて被験者の意識がどの程度変わったかを把握する。

(3) 箕面市におけるモビリティ・マネジメントの考え方

箕面市においては、鉄道アクセスや市内バスサービスの不足、自家用車への過度な依存といった課題があるが、公共交通の利用を促進し、これらの課題を改善していくためには、ハード対策だけでなく、継続的なモビリティ・マネジメントの取組みが重要である。

モビリティ・マネジメントは一般的には「自発的に変化することを促す」ものであり、箕面市の地域特性や住民の特性を考慮して、効果的なモビリティ・マネジメントの取組み方策の検討をおこなうものである。

本業務における簡易 TFP 調査は以下の内容で行う。

項目	内容
対象者	公共交通のサービス充実の度合いや利用状況を踏まえて 3 地区程度を抽出（例：桜ヶ丘、坊島、栗生団地）。
配布票数・回収見込み票数	1000 票配布・200 票回収見込み（回収率 20%を想定） →自治会の協力を得られる場合はさらに高い回収率が期待できる。
配布方法（事前調査及びアンケート）	自治会を通じて配布 ※郵送、ポスティングは考慮しない
回収方法	自治会を通じて回収
調査項目	【事前調査】⇒資料 1、2 いつごろ、どのような内容で、誰がアンケートを行いますということを、自治会を通じて告知する。 ● 回答者の属性（性別、年代、家族の人数、おおまかな住所） ● 最寄り駅、最寄のバス停 ● 自家用車の利用頻度・目的 ● 公共交通の利用頻度・目的 ● 車利用についての意識

調査項目（つづき）	【アンケート】⇒資料3、4、5、6、7 「上手なクルマの使い方」（仮称）冊子、最寄の駅・バス停に関する情報、北大阪急行の延伸計画に関する情報をあわせて提供し、被験者に行動変容を働きかける。 ● 自家用車を使う時間を減らしたいと思うか ● 通勤・通学・買い物について、自家用車の代わりに電車・バス・自転車等を使うことができるか。出来るとしたら、具体的にどんな内容か ● 延伸したら北大阪急行を利用するか ● バスに対する問題点、改善要求
	【事後調査】 事前調査とほぼ同じ内容を聞き、行動変容の有無を確認する。
その他	

箕面市における
「上手なクルマの使い方」
を考える調査

— ご協力をお願い —

〇〇〇〇様

箕面市においては、鉄道やバスの利用に関して、市民満足度が低い状態です。また、道路の交通混雑など自家用車への依存が非常に高い状態です。

こうした交通問題の改善を指して、鉄道やバスなど公共交通の促進を図るために、利用できる地区を対象に、「上手なクルマの使い方」を考えていただく調査を企画いたしました。

箕面市の交通のあり方を皆様と共に考えさせていただくためにも、是非ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

近畿運輸局 大阪運輸支局
箕面市 都市計画部 交通政策課

【調査の概要】

- ・ **〇月〇日** ごろ、自治会から回収にうかがいますのでお渡し下さい。
- ・ 今回は事前調査です。来月にはアンケート調査を予定しています。
- ・ それぞれ、**10分程度**で回答可能です。

なお、調査内容は調査目的以外に使用することはありません。
ご質問やご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

箕面市役所都市計画部交通政策課 担当：〇〇
tel : 072-723-2121 (内線3426)
e-mail : koutuu@maple.city.minoh.lg.jp

※回収方法については自治会との協議が必要

資料2 事前調査票の案

交通行動についての調査

(できるだけ「免許をお持ちの家族の皆さん」でご相談頂きながらお答えください)

当てはまる□に✓を
____に数字や文字を
ご記入ください

ご家族の人数は？	ご家族は 何人ですか？	_____ 人	そのうち、自動車免許を お持ちの方は？	_____ 人
自宅の最寄りの「鉄道駅」や「バス停」 はありますか？ もしあれば、ご記入ください。	鉄道駅名 _____ バス停名 _____			
あなたは、何のためにクルマ（自動車） をどれくらい利用していますか？ (目的の例：通勤・通学・買い物・その他) 目的 ☐ 月に おおよそ ☒ 週に ☐ 日に 5 回程 <u>通勤</u> のために	目的 ☐ 月に おおよそ ☐ 週に ☐ 日に ____ 回程 ____ のために	目的 ☐ 月に おおよそ ☐ 週に ☐ 日に ____ 回程 ____ のために	目的 ☐ 月に おおよそ ☐ 週に ☐ 日に ____ 回程 ____ のために	目的 ☐ 月に おおよそ ☐ 週に ☐ 日に ____ 回程 ____ のために
あなたは、何のために公共交通（バス や鉄道）をどれくらい利用しています か？ (目的の例：通勤・通学・買い物・その他) 目的 ☐ 月に おおよそ ☒ 週に ☐ 日に 5 回程 <u>通勤</u> のために	目的 ☐ 月に おおよそ ☐ 週に ☐ 日に ____ 回程 ____ のために	目的 ☐ 月に おおよそ ☐ 週に ☐ 日に ____ 回程 ____ のために	目的 ☐ 月に おおよそ ☐ 週に ☐ 日に ____ 回程 ____ のために	目的 ☐ 月に おおよそ ☐ 週に ☐ 日に ____ 回程 ____ のために
あなたの（世帯の）クルマ（自動車） の保有台数と走行距離は？	クルマは _____ 台、走行距離は全体合計で一月約 _____ km 程度			
あなたの「クルマ」についての意識を お答えください。	①クルマばかりを使うのは、あまり「健康」に良くない。 全く、そう思っていない どちらとも言えない そう思っている ← □ □ □ □ □ → ②クルマばかりを使うのは、あまり「環境」に良くない。 全く、そう思っていない どちらとも言えない そう思っている ← □ □ □ □ □ → ③クルマばかりを使うのは、あまり「家計」に良くない。 全く、そう思っていない どちらとも言えない そう思っている ← □ □ □ □ □ → ④クルマ利用は、できるだけ控えた方がよい。 全く、そう思っていない どちらとも言えない そう思っている ← □ □ □ □ □ → ⑤クルマ利用を、できるだけ控えようと思っている。 全く、そう思っていない どちらとも言えない そう思っている ← □ □ □ □ □ →			

■ 今後も同様のアンケートを予定しております。もしよろしければお名前／ご住所をご記入ください ■

あなた自身についてお尋ねします。					
性別	☐ 男性	年齢	☐ 10 代	☐ 30 代	☐ 50 代
	☐ 女性		☐ 20 代	☐ 40 代	☐ 60 代以上
お名前	_____		ご住所	_____	

ご協力ありがとうございました

箕面市における
「上手なクルマの使い方」
を考える調査（第二回）

— ご協力をお願い —

〇〇〇〇様

先日は、箕面市における「かしこいクルマの使い方」を考える調査にご協力頂き、誠にありがとうございました。

この度は、「上手なクルマの使い方考えるプログラム」と題した冊子と、お住まいの近くの駅やバス停に関する情報と、調査票を各一点ずつお配りします。

箕面市の交通のあり方を皆様と共に考えさせて頂くためにも、是非とも、ご協力お願い致します。

近畿運輸局 大阪運輸支局
箕面市 都市計画部 交通政策課

【調査の概要】

- ・ できましたらご家族の中でご相談頂きつつご回答下さい。
- ・ ○月○日ごろ、自治会から回収にうかがいますのでお渡し下さい。
- ・ 来月には最後のアンケート調査を予定しています。
- ・ それぞれ、10分程度で回答可能です。

なお、調査内容は調査目的以外に使用することはありません。
ご質問やご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

箕面市役所都市計画部交通政策課 担当：〇〇
tel：072-723-2121（内線3426）
e-mail：koutuu@maple.city.minoh.lg.jp

※回収方法については自治会との協議が必要

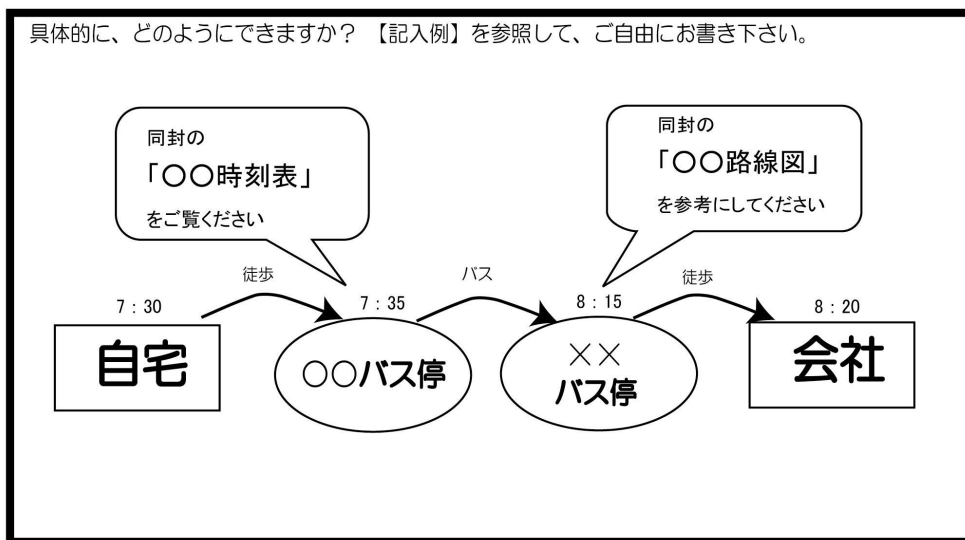
資料4 アンケート：行動プラン票の案

行動プラン票 保管用（お手元に保管してください）	お名前 _____			
まずは 「上手なクルマの使い方を考えるプログラム」の冊子をよくご覧ください 【お願い】 できるだけ「自動車免許をお持ちの皆さん」でご相談いただきながらお答えください。 難しい場合は、お一人で記入いただいても結構です。				
問1 自分の健康、環境や家計などのために、あなたの「クルマを使う時間」を今より何%減らしたいと思いますか？ 注）もし「クルマを使う時間」の削減をお考えでない場合は、0とお書きください。 → 問3へ クルマを使う時間を、今より % 減らそうと思います。				
問2 通勤・通学 の場合、次のような「かしこいクルマの使い方」ができるかもしれません。 a) クルマの代わりに電車やバスを使う。 b) クルマの代わりに自転車やバイクを使う。 c) 家族に駅まで送ってもらい、そこから電車に乗る。				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> あなたのご家族の中で、通勤・通学で上のような「上手なクルマの使い方」ができそうなものがありますか？ どんなことができそうですか？ できそうなものを上の(a～d)の中から全て選んでください。 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> ☐ できそうなものはある ☐ a) 電車・バス ☐ b) 自転車など ☐ c) 駅まで送迎 ☐ 全くない ☐ d) その他 </td> </tr> </table> 具体的に、どのようにできますか？ 【記入例】を参照して、ご自由にお書きください。		あなたのご家族の中で、通勤・通学で上のような「上手なクルマの使い方」ができそうなものがありますか？ どんなことができそうですか？ できそうなものを上の(a～d)の中から全て選んでください。	☐ できそうなものはある ☐ a) 電車・バス ☐ b) 自転車など ☐ c) 駅まで送迎 ☐ 全くない ☐ d) その他	
あなたのご家族の中で、通勤・通学で上のような「上手なクルマの使い方」ができそうなものがありますか？ どんなことができそうですか？ できそうなものを上の(a～d)の中から全て選んでください。	☐ できそうなものはある ☐ a) 電車・バス ☐ b) 自転車など ☐ c) 駅まで送迎 ☐ 全くない ☐ d) その他			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%; padding: 5px;"> 上のような行動をやってみようと思いますか？ </td> <td style="width: 10%; padding: 5px;"> ☐ 全く思わない ☐ 少し思う ☐ 思う ☐ 是非やりたい </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> いつ頃ならできそうですか？ （例：あさって・来週火曜・今週末・○月○日 等） </td> </tr> </table>		上のような行動をやってみようと思いますか？	☐ 全く思わない ☐ 少し思う ☐ 思う ☐ 是非やりたい	いつ頃ならできそうですか？ （例：あさって・来週火曜・今週末・○月○日 等）
上のような行動をやってみようと思いますか？	☐ 全く思わない ☐ 少し思う ☐ 思う ☐ 是非やりたい	いつ頃ならできそうですか？ （例：あさって・来週火曜・今週末・○月○日 等） 		
問3 （問1で0%とお答えいただいた方）なぜそう思いますか？ ☐ お金がかかるから ☐ 環境問題に興味が無いから ☐ クルマの方が便利だから ☐ 時間がかかるから ☐ その他 _____				
問4 （問1で0%とお答えいただいた以外の方）なぜそう思いますか？ ☐ 家計のため ☐ 環境のため ☐ 駐車等の心配をしなくていいから ☐ その他 _____				
問5 現状のバスについての問題点、改善して欲しい事がありますか？ ☐ 料金が低い ☐ 混んでいる ☐ 時間がかかって遅れることが多い ☐ 便数が少ない ☐ その他 _____				
問6 将来、北大阪急行が、「かやの中央」まで延伸される計画があります。延伸された場合、あなた自身、クルマの代わりに電車やバスを使う事が増えると思いますか？ ☐ 増えると思う ☐ 変わらないと思う ☐ わからない				

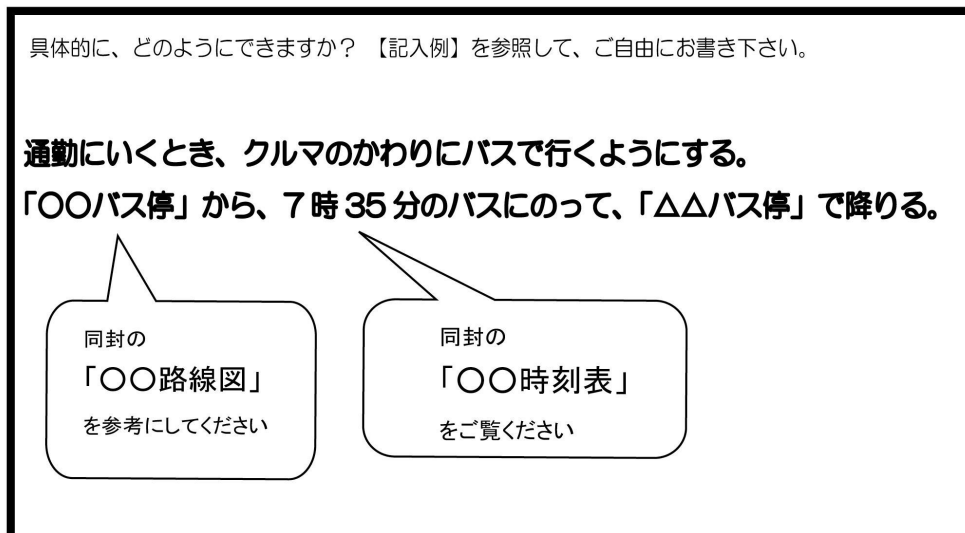
【記入例】

＊記入は、図（例1）でも文章（例2）でも結構です。

例1.



例2.



「上手なクルマの使い方」 を考えるプログラム

クルマはとても便利で、快適な乗り物です。

しかし、クルマのある生活には、
困ったことも少なくありません。

ここではこの事について、
少し**冷静**に考えてみましょう。



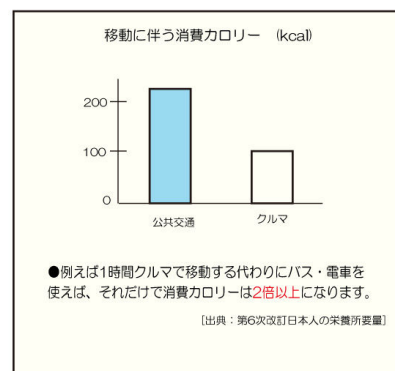
1

クルマ利用と「健康」

クルマではずっと座っていられます。

だからこそ、便利なのですが、

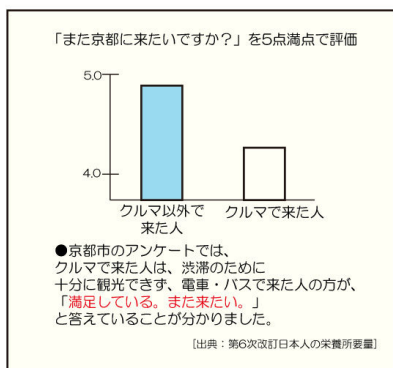
だからこそ、**健康**にはあまり良くありません。



2

休日ドライブの「憂鬱」

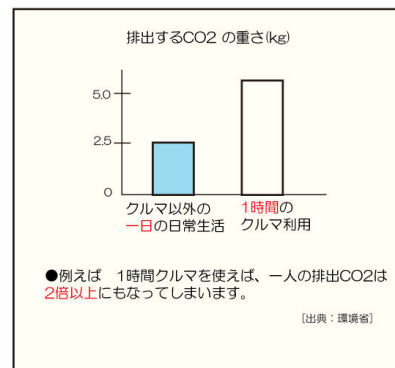
休日のクルマでのお出かけは、渋滞が多くて、
あまり「**楽しくない**」ことも、あるかも知れません。



3

クルマ利用と「環境問題」

ちょっとクルマを使うだけで、あなたが
排出するCO₂ (二酸化炭素・**地球温暖化ガス**)
は**何倍にも**なってしまいます。

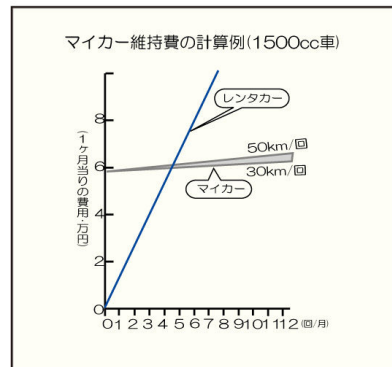


4

クルマ利用と「家計」

マイカーを保持した場合、全く使わなくても月に数万円も支出していることになります(費用には購入費用を含む)。

一週間に一回程度の利用であれば、**その都度レンタカーを借りた場合とほとんどコストは変わりません**



5

上手なクルマの使い方

クルマは確かに便利で快適です。しかし、

「**健康、渋滞**… そして、**環境問題**」

と困ったこと、があることも事実です。

便利なクルマと**上手**にお付き合いする

ためには、例えばこんな方法があります。

- ・ 一回の外出で、色んな用事を済ます。
- ・ クルマ以外の手段で行けるとところに目的地を変える。
- ・ クルマを使う代わりに他の手段を使う。
- ・ 外出しないで自宅で用事を済ます。等

もし、一人ひとりが、自分の行動を見直す

ことができれば、「あなた」も「社会」も

もっと便利で楽しくなるかもしれません。

6

資料7 バス停に関する情報の例

**バスの使い方シート
～「白金一丁目」バス停版～**

◆ お出かけの際には、こちらをご参照ください。

このシートは、白金一丁目バス停の近くに住んでいる方々にお配りしております。
あなたの住んでいる地域からは、バスを使うといういろいろな所へ出かけることができます。ここには、そのうちのいくつかの例を挙げてみました。今後、お出かけの際には、参考にしてみてください。

◆ 「日生中央駅」へ行くときは・・・(阪急バスを使う場合)

当該のバス停から最も利用しそうな目的地(駅)へのバスでの行き方を、表面の一番最初で説明する(時間、料金、接続系統の情報を記載)。

「お出かけマップ」を見て、場所を確認する。

この事例では、バス停の位置は別途用意した「お出かけマップ」(仮称)に記載。

白金一丁目

➡

日生中央

所要時間 約10～15分

◆ 利用できるバスは、
6, 8, 44, 46系統のバスです。

◆ 運賃は、大人 210円 です

12歳以下の子供は、半額です。

◆ 時刻表

詳しいバスの時間はこちらをごらんください。

当該バス停の時刻表を、まとめて掲載。

行先	平日	土曜・休日
5 49	44	54
6 16 金39 金56	03 22 37 52	14 36 56
7 金12 金30 金50	07 22 37 52	16 36 54
8 金10 38 50	14 34 54	14 34 54
9 14 34 52	16 34 56	16 34 56
10 12 32 38 52	14 34 54	12 32 52
11 12 32 52	14 34 54	12 32 52
17 月水金(15:38)	14 34 54	12 32 52
18 05 12 32 49	14 34 54	12 32 52
19 12 32 52	14 34 54	12 32 52
20 12 32 58	14 50	12 50
21 11 50 41	10 30 50	10 30 50
22 22 44		

行先	平日	土曜・休日
5 47		
6 00 13 25 40 52	01 15 32 53	10 30 50
7 05 21 41 53	04 14 34 51	
8 04 15 32 42 58	06 21 40 52	12 32 52
9 12 32 52	14 34 54	12 32 52
17 月水金(13:00)(17:14)		
18 15 29 44 57	12 32 52	12 32 52
19 14 29 45	12 32 52	12 32 52
20 03 21 39	12 32 52	12 32 57
21 00 16 33 53	12 32 59	17 37 57
22 13 31 51	21 45	21 44
23 11 35 59	11	11
24 32		

注 黒字＝6バータプラザ前→つつじが丘→萩原台→川西バスターミナル行
 赤字＝8つつじが丘→萩原台→川西バスターミナル行
 緑字＝8急行つつじが丘→萩原台→川西バスターミナル行
 (停車停留所：唐和台(東)までの各停留所・西多田・萩原台)
 青字＝8急行つつじが丘→萩原台→川西バスターミナル行
 (停車停留所：日高町以外の各停留所)

2.3 バス利用者意識調査

箕面市においては、特に鉄道駅端末交通としてのバスの役割が大きく、サービスレベルも高い。北大阪急行線が延伸された後も、バスは重要な役割を果たすと考えられる。よって、公共交通の利用促進に向けては、バスの利便性向上による利用促進が重要な検討課題となる。

よって、本業務では、箕面市における課題・問題点の所在を明らかにすることを目的に、バスサービスやバスネットワークに対する利用者や市民の意識の把握を行うための意識調査を以下の内容で実施する。

項目	内容
対象者	千里中央、北千里及び国道 171 号沿いのバス停の待ち客のうち、箕面市方面の路線の利用者、主に通勤・通学の利用者を想定
配布票数・回収見込み票数	1000 票配布 200 票回収見込み（回収率 20%を想定）
配布方法	バス停（千里中央、北千里及び国道 171 号沿いのバス停：方面別）の待合で配布 帰りの客を想定して平日の午後から夜にかけて配布
回収方法	ハガキサイズのアンケート用紙をハガキとして投函してもらう
アンケート項目	⇒資料 8、9 ● 回答者の属性（性別、年代、おおまかな住所） ● 公共交通利用の主な目的（通勤か通学か、その他か） ● 利用頻度 ● 乗降バス停 ● 自宅からバス停までの交通手段 ● バス停駐輪場に対する期待 ● バスに対する問題点、改善要求
その他	

バス利用者意識調査 への協力をお願い

箕面市内の公共交通としてのバス路線は、千里中央方面へのバスサービスレベルは高い状況にありますが、市民満足度アンケート調査結果においては、「バス路線網の整備」に関する市民満足度は低い状態にあります。

そこで、市民が不満に思うバスサービスの問題点を改善し、利便性を向上させ、より多くの市民のみなさまに利用して頂くため、本意識調査を実施するものです。

なお、調査結果については、今後、取り組むべき施策の検討に活用するため、回答頂いた情報等については、統計的に処理した後廃棄し、個人にご迷惑をかけるようなことは一切ございません。

つきましては、誠に恐縮ですが、本調査の主旨をご理解のうえ、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

近畿運輸局 大阪運輸支局
箕面市 都市計画部 交通政策課

ご質問等は、下記までお問い合わせください。

箕面市役所都市計画部交通政策課 担当：〇〇
tel : 072-723-2121 (内線3426)
e-mail : koutuu@maple.city.minoh.lg.jp

※配布方法・体裁については検討が必要

資料 9 バス利用者意識調査票の案

	〒562-0003 大阪府箕面市西小路 4 丁目 6 番 1 号 箕面市役所都市計画部 交通政策課 行 箕面市における公共交通の活性化を検討するため、是非ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。 近畿運輸局・箕面市															
バスをご利用の方の行動・意識調査																
問 1 あなた自身についてお尋ねします。 <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">性別</td> <td style="width: 20%;">☐ 男性</td> <td style="width: 20%;">年齢</td> <td style="width: 20%;">☐ 10 代</td> <td style="width: 20%;">☐ 30 代</td> </tr> <tr> <td></td> <td>☐ 女性</td> <td></td> <td>☐ 20 代</td> <td>☐ 40 代</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>☐ 50 代</td> <td>☐ 60 代以上</td> </tr> </table>		性別	☐ 男性	年齢	☐ 10 代	☐ 30 代		☐ 女性		☐ 20 代	☐ 40 代				☐ 50 代	☐ 60 代以上
性別	☐ 男性	年齢	☐ 10 代	☐ 30 代												
	☐ 女性		☐ 20 代	☐ 40 代												
			☐ 50 代	☐ 60 代以上												
引き続き裏面の質問にお答えください。																

バスをご利用の方の行動・意識調査 普段のバス利用に関してお答えください。													
問 2 あなたは、バスをどんな目的でどれくらい利用していますか？	(記入例) 目的 ☐ 月に ☒ 週に ☐ 日に おおよそ 5 回程 通勤 のために (目的の例：通勤・通学・買い物・その他) 目的 ☐ 月に ☐ 週に ☐ 日に おおよそ _____ 回程 _____ のために 目的 ☐ 月に ☐ 週に ☐ 日に おおよそ _____ 回程 _____ のために												
問 3 (自宅の最寄のバス停) 主にどの区間を利用していますか？ _____ ～ _____													
問 4 自宅からバス停までの交通手段は？ ☐ 徒歩 ☐ 自転車 ☐ その他 _____													
問 5 最寄のバス停に駐輪場があったら利用したいと思いますか？ ☐ 思う ☐ 思わない ☐ その他 _____													
問 6 バスに対する問題点、改善してほしい点はどのようなことですか？ (複数選択可) <table style="width: 100%;"> <tr> <td>☐ 料金が高い</td> <td>☐ 便数が少ない</td> </tr> <tr> <td>☐ 時間がかかる</td> <td>☐ 混んでいる</td> </tr> <tr> <td>☐ バス停に雨よけ・ベンチが欲しい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>☐ バス路線図がわかりにくい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>☐ 乗り継ぎの際、割引料金にして欲しい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>☐ その他 _____</td> <td></td> </tr> </table>		☐ 料金が高い	☐ 便数が少ない	☐ 時間がかかる	☐ 混んでいる	☐ バス停に雨よけ・ベンチが欲しい		☐ バス路線図がわかりにくい		☐ 乗り継ぎの際、割引料金にして欲しい		☐ その他 _____	
☐ 料金が高い	☐ 便数が少ない												
☐ 時間がかかる	☐ 混んでいる												
☐ バス停に雨よけ・ベンチが欲しい													
☐ バス路線図がわかりにくい													
☐ 乗り継ぎの際、割引料金にして欲しい													
☐ その他 _____													

2.4 バス停への自転車利用の実態調査

バス停勢圏の拡大に向けた自転車との連携方策の検討に際して、バス停まで自転車で来てバスに乗り換える利用者の実態調査を行う。

バス利用者意識調査の結果も参考にしながら、以下の内容で行う。

項目	内容
対象者	事前検討で自転車との連携が可能なバス停を抽出。 (例：小野原東、箕面墓地前、栗生団地等)
調査方法	該当自転車を目視でカウント（方向別時間別台数） ※ヒアリングには困難も予想される。
ヒアリング項目	● 回答者の属性（性別、年代、おおまかな住所） ● 利用交通手段 ● 最終目的地 ● 利用頻度 ● バス停における駐輪場の要望
その他	

2.5 スケジュール（案）

実態調査のスケジュール（案）を以下に示す。

項目		7月	8月	9月	10月	11月	12月
簡 易 T F P	事前調査内容 確定	■					
	事前調査票自 治会への配布 依頼		■■■■■	■			
	事前調査票自 治会への回収 依頼			■			
	事前調査結果 集計・分析			■	■		
	アンケート内 容確定				■		
	アンケート自 治会への配布 依頼				■		
	アンケート自 治会への回収 依頼					■	
	アンケート結 果集計・分析					■	
	事後調査						■
バス利用者意識調 査		■ (内容確定)		▲ ■ (集計・分析)			
バス停への自転車 利用の実態調査		■ (内容確定)		▲ ■ (集計・分析)			
協議会		▲			▲		▲